

平成 26 年度 第 4 回 富田林市総合計画フォローアップ会議 会議録概要

◆日 時：平成 27 年 3 月 9 日（月）（13：30～16：30）

◆場 所：富田林市役所 5 階 介護認定審査会室

◆出席者：吉川委員（座長）、前川委員、湯口委員

欠席者：大西委員

事務局：塚本、石那田

発言者	発言概要
事務局	<p>■委員 3 名の出席により会議が成立していることを報告。</p> <p>■傍聴人の確認 ⇒傍聴人なし。</p> <p>～座長による議事進行～</p> <p>■第 3 回の議事録の確認 ⇒一部、語句を修正する。</p> <p>■各施策及び事業の進捗状況の確認</p>
座長	<p>本日の議題として、今年度フォローアップ会議報告書(以下、「報告書」)についての議論を行いたいと考えている。事前に事務局に作成を依頼した報告書案(たたき台)について、各委員のご意見等を伺いたいと考える。初めに事務局から、報告書案(たたき台)の概要についてご説明いただきたい。</p>
事務局	<p>報告書案(たたき台)の概要を説明させていただく。</p> <p>全体の構成としては、例年の報告書を踏襲する構成としているが、今年度新たな取り組みとして実施した「総合計画進捗状況の調査」と「担当課との意見交換」については、新たに章立てすることとし、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめに ・Ⅰ. フォローアップ会議の基本方針 ・Ⅱ. 総合計画の進捗状況の評価 ・Ⅲ. 総合計画進捗状況調査の評価 ・Ⅳ. 担当課との意見交換 ・おわりに <p>という構成とした。</p> <p>「はじめに」の部分では、フォローアップ会議の趣旨や過去の経過に触れるとともに、今年度のフォローアップ会議の取り組みについて、新たな取り組み（「総合計画取り組み状況調査」「担当課との意見交換」）も含めて記載している。</p> <p>「Ⅰ. フォローアップ会議の基本方針」については、「2. 今年度会議のあり方」の部分で、「総合計画の実効性を担保するための評価の継続」という昨年度からの継</p>

	<p>続的な視点に加え、「市民と行政の相互理解を深める」という昨年度のフォローアップ会議の議論の結果を踏まえた今年度の新たな視点を追加した。</p> <p>「Ⅱ. 総合計画の進捗状況の評価」の「1. 基本計画第1章について」の部分では、今年度の点検結果の評価も含めて記載するとともに、フォローアップシート等の資料の蓄積は、第4次総合計画を継続的にフォローアップしてきたことによる成果であることを確認した点について記載している。</p> <p>「Ⅱ. 総合計画の進捗状況の評価」の「2. 基本計画第2章について」の部分では、今年度継続評価の有効性の観点から、実施した事務事業評価表の点検結果を、その評価と課題も含めて記載している。</p> <p>「Ⅲ. 総合計画取組状況調査結果の評価」では、今年度政策推進課で実施した、第4次総合計画の全計画事業を対象とした取組状況調査の集計結果について、基本計画第1章の取り組み状況や各施策の進捗状況の集計結果から読み解くことができる傾向を記載し、また、今回整理された集計結果は、総合計画の取り組み状況を客観的に確認できる資料となっていたことを記載している。</p> <p>「Ⅳ. 担当課との意見交換について」では、昨年度のフォローアップ会議の議論の結果を踏まえて実施した「担当課との意見交換」の結果について、担当課での事務事業の実践が、“3つのしくみづくり”の実践にほかならないというフォローアップ会議としての気付きの点を含めて記載している。</p> <p>「おわりに」では、今年度のフォローアップ会議における議論の結果を、全体的に総括する形で記載している。</p>
座長	<p>全体の構成としては、これで良いと思うがどうか。</p> <p>(各委員了承)</p>
座長	<p>それでは、報告書の中身について論議したい。</p> <p>各委員、ご意見があればお願いしたい。</p>
委員	<p>「Ⅱ. 総合計画の進捗状況の評価」の「1. 基本計画第1章について」について、例えば、フォローアップシート①については、市全体の取り組みを総合計画の体系に沿って、経年的に整理されており、視覚的にも分かりやすい。このような資料の蓄積は、市民と行政の共通財産といえ、ただ資料を整備するというだけでなく、市民と行政が有効活用していくことが必要と考える。</p>
委員	<p>そのとおりだと思う。</p>
座長	<p>「Ⅱ. 総合計画の進捗状況の評価」の「2. 基本計画第2章について」について、成果指標の設定については、過去のフォローアップ会議でも指摘をしてきたが、指標設定のあり方そのものを見直す必要があるとも考えられる。しかしながら第4次総合計画が後半を迎えていることを踏まえ、継続的な進捗管理の観点から、恣意的に指標を変更することは望ましくないと考えられるため、今回の報告書には記載はしない</p>

	<p>が、指標を見直すタイミングがあれば、これまでの議論の内容を踏まえて、検討してほしい。</p>
委員	<p>本来は目標として指標を設定し、その目標が達成されれば良いということなのだろうが、現実的にはそれだけでは済まないところもあり、それが指標を設定するうえでの難しさなのだと思う。</p>
	<p>～ 休 憩 ～</p>
委員	<p>「Ⅲ. 総合計画取り組み状況調査結果の評価」について、将来的にも財政状況が厳しい中では、各施策の実施において、コスト意識をもって取り組むことが必要だと考えるが、コストを優先することで弊害が発生すること考えられ、このバランスを見ながら対応していく必要があるように思う。</p>
座長	<p>その趣旨は理解できる。</p>
委員	<p>コスト優先によるスクラップアンドビルドを行政側の視点だけで実施するのではなく、市民の視点も入れたPDCAサイクルを有効に機能され、効果的・効率的に実施していくことが重要と考える。</p>
委員	<p>「Ⅳ. 担当課との意見交換について」について、今回の意見交換を通して、新たな気づきがあった。</p> <p>これまで、各施策である縦系に3つの市民参加のしくみづくりである横系を編みこんでいくという表現をしていたが、例えば、下水道課の職員が日々の業務で行っている市民参加は、縦系と横系をしっかりと結ぶ“結び目”であって、このような“結び目”がたくさん出来ることで、編み物の目と目が詰まっていく方向性が、我々が目指していることではないか。</p>
座長	<p>“結び目”は、新しい概念である。その趣旨は賛同でき、ぜひとも報告書の中にも取り入れたい。</p>
委員	<p>「おわりに」について、フォローアップ会議で毎年提示している工程表については、第4次総合計画が8年目を迎えていることを踏まえて、「職員の参加」「市民の参加」の期間を全体的に少し短縮する形で提案したい。</p>
座長	<p>工程表については、議論をしていないが、これまでの流れを踏まえて、次期総合計画の策定を期待するという意味を含めて、委員から提案のあった内容で盛り込むということで良いか。</p> <p>(各委員了承)</p>

委員	<p>報告書については、これ以上の意見はないが、自治基本条例について、今年度のフォローアップ会議においては議論することはできなかったが、近隣でも大阪狭山市や河南町で制定されている状況もあり、第4次総合計画においても、基本計画第1章の目標の中にも“市民参加と協働を推進するためのしくみに関わる条例などの制度が整い”と記載されていることから、今後この点についても検討をしていく必要があるように感じている。</p>
座長	<p>以上で、報告書全体についての議論を行ったことになる。 今回の会議内容を踏まえた報告書案を作成し、各委員から報告書に関する最終意見を頂戴した上で、今年度の報告書としてとりまとめたいと考えるが、市長報告までのスケジュール案について事務局から願います。</p>
事務局	<p>今回の会議内容をもとに報告書案を作成し、3月13日を目途に全委員へ送付させていただき、3月20日までに事務局までご意見をいただきたい。それらを反映した報告書最終案を市長報告までにお渡しするような形で進めさせていただきたい。</p>
座長	<p>事務局から説明のあった日程で、報告書案に関する意見を必ず事務局までフィードバックしていただきたい。それを受けての報告書最終案については、大きな修正等があり再度確認が必要であれば、市長報告までに調整をしたいと思います。問題がないようであれば、私のほうで事務局と微調整したいと考えるが、一任いただけるか。</p> <p>(各委員了承)</p>
事務局	<p>次回会議については、議事録及び報告書の確認作業のみとなるため、市長報告の30分前に集合する形で良いか。</p> <p>(各委員了承)</p> <p>次回の日程確認をして終了。 (第5回は、3月30日(月)14:30分～5階政策推進課内会議室で行う。) ※市長報告は15:00～</p>